

タイトル!! 汐製菓会社の新作 30 ポップコーン?

登場人物

- ・ 汐… 汐製菓会社社長（30代）。「面白きことも無き世を面白く」をモットーに奇想天外な菓子商品を発案する。快活な性格。
 - ・ 塩田… 汐の秘書（30代）。真面目で心配性な性格。汐の発想にいつも振り回される。実は大のお菓子好きで、そのために製菓会社に就職。
-

シーナー | 汐製菓会社オフィス

（オフィスの背景音。電話の音やキーボードの打鍵音が聞こえる）

汐… よし、塩田さん！ 次の新作を考える時間だ！

塩田…社長、今度はどんな奇想天外なアイデアですか？前回の「チョコレートキムチ味」は、少し…強烈すぎましたね。

汐…ハハハ、確かにあれは少々冒険しすぎたかもしれない。でも、今回はもっとすごいものを考えたんだよ。

塩田…それは何ですか？まさか…また何かとんでもないものを？

汐…その通り！今回はポップコーンの新作だ！

塩田…ポップコーン？それなら普通に…

汐…ただのポップコーンじゃないぞ！「トムヤムクン味」だ！

塩田…ト、トムヤムクン味！？社長、それはお菓子の範疇を超えているのでは…。

汐… いやいや、辛さと酸味が絶妙なバランスを作り出すんだ！想像してみろ、ポップコーンを口に入れた瞬間、エキゾチックな風味が広がる…！

塩田… でも、国内外の市場に受け入れられるでしょうか？特に日本のお客様は、もつと甘いものや馴染みのある味を好むと思いますけど…。

汐… それがまさに挑戦なんだよ！みんなが想像もしなかった味を提供して、驚かせてやるんだ！

塩田…（深くため息）分かりました…。では、試作品の開発に取り掛かりますか？

汐… その前に、インスピレーションを得るためにちよつと市場調査をしよう。塩田さん、トムヤムクンのお店を探して、味を研究しようじゃないか！

塩田…（不安そうに）社長、また急な仕事で
すか…。でも、分かりました。調査してみま
す。

シーン 2ー トムヤムクン専門店

（トムヤムクン専門店の背景音。スープが煮え
る音や食器が触れる音が聞こえる）

汐…ふむ、この香り…実にエキゾチックだ！塩
田さん、どう思う？

塩田…（口に含んで）確かに、これは複雑な味
わいですね…辛さと酸味、そしてハーブの香り
が絶妙に絡み合っています。でも、これをポップ
プーンに…？

汐…できる！いや、やるんだ！これをポップコ
ーンにすれば、絶対にウケるはずだ！

塩田…（半信半疑で）わ、わかりました…。とりあえず、試作を作ってみましょう。

汐…よし、まずはトムヤムクンのエキスを抽出して、それをポップコーンに合うように調整しよう！

シーン③ー 汐製菓会社のキッチン

（キッチンの音。ポップコーンがはじける音や調理器具が触れる音が聞こえる）

塩田…（独り言）本当にこれが上手くいくのかしら…でも、やるしかない。

汐…よし、塩田さん！トムヤムクンのエキスを混ぜたソースを作って、ポップコーンにかけてみるんだ。

塩田…（作業しながら）こんな感じでしょうか…。この辛さ、ちょっと調整が難しいかも…。

汐… 少しでも加えてみて。辛さと酸味のバランスが大事なんだ！

（ポップコーンを試食する音）

汐…（満足げに）これは…想像以上だ！辛さと酸味が見事にポップコーンにマッチしている！

塩田…でも、辛さが強すぎるかもしれません。

一般の消費者が受け入れるかどうか…。

汐…いや、この刺激がいいんだ！さっそく、社員たちに試食させて、意見を聞いてみよう。

シーン4ー 社内試食会

（社員たちが集まる音。ざわつきが聞こえる）

汐… 皆さん、今日は新作ポップコーン「トムヤムポッピー」の試食会です！ぜひ、率直な意見を聞かせてください。

社員 ① (試食して)これは…すごいパンチの効いた味ですね！

社員 ② 最初は辛いけど、だんだんと癖になりそうなの…。

社員 ③ でも、ちょっと辛すぎるかも。お子さんには向かないかもしれませんね。

汐 なるほど、少し調整が必要か…。でも、このインパクトは間違いなく売りになるはずだ！

塩田 (社員たちに向かって) 皆さん、他に何か意見があればぜひ教えてください。

社員 ④ 海外ではこういう辛い味が受けるかもしれませんね。特に東南アジアの市場に向けては。

汐 そうだ、その通り！国内だけでなく、海外展開も視野に入れてみよう！

塩田…（少し驚いた声で）社長、国内の販売だけでなく、海外展開も考えているんですか？

汐…当然さ！グローバルなスナック市場に挑戦するんだ！そして、まずは試食イベントを開こう。

シーン5-1 試食イベント準備

（試食イベントの準備音。スタッフが動き回る音が聞こえる）

塩田…社長、試食イベントの準備が整いました。お客様の受付や試食ブースの設置も完了です。

汐…よし、これで準備万端だな。お客様にどんな反応をしてもらえるか楽しみだ！

塩田…（不安そうに）でも、万が一失敗したらどうしよう…。国内外からのお客さんが集まるし…。

汐…大丈夫だよ、塩田さん！最悪の事態を想定しても、準備は万全だからね。さあ、イベントが始まるよ！

シーンの1 試食イベント

（試食会場の音。賑やかな雰囲気、様々な人々が話している声が聞こえる）

ナレーション…そして、ついに「トムヤムポッピー」の試食イベントが開催された。国内外から多くのお客さんが集まり、その味を確かめようとしている。

（お客さんたちが試食を始める音）

国内のお客さん…え、この味、すごく新鮮！ポップコーンってこんなに変わるんですね！

国内のお客さん…トムヤムクンの酸味が本当に良い感じ！おやつなのにご飯みたいに満足感があるわ。

外人さん…これは…すごくおいしいですね！酸っぱくて、辛い、でも甘いところもあって…なんか不思議！

外人さん…日本のポップコーン、ここまで進化しているなんて驚きです！また来たいですね！

外人さん…これは海外でも絶対にウケると思います！ぜひ、僕たちの国でも売ってほしいです！

塩田…（試食しているお客さんの反応を見て）どうやら、みんな楽しんでいるみたいですね…。

汐… 見ろ、塩田さん！大成功だ！想像していた通り、みんなびっくりしているし、楽しんでくれている！

塩田…（安堵した声で）はい、これで一安心です。海外展開の準備も始めましょうか。

シーン—— 成功の予感

（オフィスの音。電話が次々に鳴る音が聞こえる）

塩田… 社長、注文が殺到しています！「トムヤムポッピー」が大ヒットです！

汐… やった！やっぱり冒険して正解だったんだ！

塩田… 正直、こんなに早く成功するとは思いませんでした…。でも、これでまた新しい挑戦ができますね。

汐…その通り！次の新作も考えなきゃな…今度はどうな味にしようか…。

塩田…（苦笑して）少し休んでからにしましよ
う、社長…。

（エンドロール音楽が流れる）

ナレーション…そして、汐製菓会社は新たな一歩を踏み出した。「トムヤムポッピー」は世界中で話題となり、次々と新しいフレーバーが誕生していく。果たして次の挑戦は一体何なのか…。お楽しみに！

完